

◎平成15年度一般公開開催

第44回科学技術週間（4月14日～20日）筑波地区行事の一環として、去る4月16日（水）に当所を一般公開いたしました。当日はお天気に恵まれ、過去最多の783名の方々が当所を訪れました。



オープン直後の正面玄関ロビー

正面玄関ロビーでは、今までに発刊してきた研究情報瓦版「研究の“森”から」より、日常生活に密接なつながりのある森の働きや仕組みや利用の仕方の一端をピックアップし、紹介しました。そのほか、丸太から柱や板をどのように取っていくかを実物でご覧いただいたり、木材を継ぐための接合部加工である継手の様々な種類を模型でご覧いただきました。



継手の説明をする林材料接合研究室長（左）

また、生物多様性研究棟1階「もりの展示ルーム」を初公開いたしました。動物・昆虫標本やきのご標本などの展示や木材の比重を調べる実験や、パソコンでのスライドショーやデータベース検索や各種パネルなどで生物多様性の研究について触れていただきました。



初公開の「もりの展示ルーム」

今年は「古くて新しい木造建築のお話 - 現代でも解明しきれない伝統的な木構造 -」と題した講演会を大会議室で行い、大変好評でした。恒例の樹木園案内、林業機械のデモンストレーション見学、林産展示室公開、住宅の耐力壁の耐震試験などの催しにも、大勢の方が参加して下さいました。毎年好評の苗木と木片のプレゼントを行い、大変喜ばれました。



正面玄関外の苗木プレゼント会